

令和3年度大隅地区人権教育授業実践研修会 小学校第6学年社会科学習指導略案  
【公民的分野から歴史的分野へつなぐオリエンテーションとして扱う授業展開例】

1 授業づくりに当たって

公民的分野（政治）から歴史的分野に入る際に、オリエンテーションとして、同和問題に関する学習内容を取り扱うことで、同和問題をはじめとする様々な人権課題が今も存在することや、歴史上、差別問題がどのようにして起こり、解決に向けて、どのような取組がなされてきたのかについて、興味・関心・意欲がもてるようにする。

2 学びの視点について

平成28年度人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会」(P.9～11)より

視点① 人々の生活を支え、文化の創造・継承に努めてきたことに気付く

視点② 厳しく差別されてきた身分の人々への差別の不合理さについて考える

視点③ 厳しく差別されてきた身分の人々が差別の中をどのような思いで生きてきたかを理解する

3 本時

(1) 目標

識字学級（識字教室）の存在を知ることで、現在もある差別問題の現実や差別の不合理さに気付くとともに、これから学ぶ歴史学習では、社会全体の背景や動向と共に、様々な差別問題や人権獲得の歴史について学び、自分の生き方につなげていくことを理解する。

(2) 実際

学習過程	主な学習活動	時間(分)	◆：指導上の留意点，*：学習資料
つかむ・立てる	<p>1 本時の学習問題をつかむ。</p> <p>(1) 「持続可能な開発目標 (SDGs)」の絵を見て、知っていることや気付いたことを出し合う。</p> <p>(2) ゴール4「質の高い教育をみんなに」を読んで、本時の学習問題を立てる。</p> <p>〈1案〉 学ぶ機会の平等について、自分の生活と比べながら考え、歴史学習につながるオリエンテーションをしよう。</p> <p>〈2案〉 学ぶ機会の平等について、自分の生活と比べながら考えることを通して、これからの歴史学習で大切なことはどのようなことだろうか。</p>	8	<p>◆ 最近よく話題になっている世界的な取組について興味をもたせ、資料①の絵の中で、自分たちに関わりがある項目は何かを考えさせる。</p> <p>* 資料①「持続可能な開発目標」</p> <p>* 教科書記述 (教育出版)→「2015年、創設70年をむかえた国連の総会で『持続可能な開発目標』が採択されました。これは、世界から貧困をなくすこと、不平等を減らすこと、…」(P.265) 17項目の目標「④質の高い教育をみんなに…」(P.271)</p> <p>◆ マインドメーターを活用し、自分の意識に近いところに名札を貼らせることで、子どもたちの学習の機会についての意識を可視化する。</p> <p>◆ 「教育を受ける権利」がどのように保障されるようになったのか、これまでの公民的分野での学びを歴史的分野に生かすためのオリエンテーションの時間であることを確認する。</p>
	<p>2 資料「識字への思い」の吹き出し部分から気付いたことや感想を出し合う。</p>		<p>◆ 資料のおばあちゃんと孫の会話から、気付いたことや感想、もう少し知りたい部分について引き出す。</p> <p>* 資料②「識字への思い」</p>

調 べ る ・ 深 め る	<p>3 資料「識字学級の歩み」を読み、次の点について考える。</p> <p>【自分たちの生活経験と重ねて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み書きができないと困ること</li> <li>・ 文字を学び、覚えたことによる生活面や心情面の変化</li> </ul> <p>【社会的思考・判断をもとにして】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どのようなことが差別なのか</li> <li>・ 厳しい差別の中で、どんな仕事を担い、どんな思いで生きてきたのか</li> <li>・ 識字学級は現在どんな役割を果たしているのか</li> </ul>	10	<p>◆ 自分たちの生活経験を振り返り、生活と重ねることを通して、文字を学び覚える前後では、どんな変化があったのか、生活面だけでなく心情面も含めて考えさせる。</p> <p>* 資料③「文字が読めない時の場面例」</p> <p>◆ 資料に線引きさせながら、どのようなことが差別なのか、その差別の中でどんな仕事を担い、どのような思いで生きてきたかを考えさせる。</p> <p>* 資料④「識字学級の歩み」</p>
	<p>4 資料をもとに考えたことから、3つの視点について、キーワードを出し合う。</p> <p>【社会的思考・判断をもとにして表現する】</p> <p>① 生活していくために…どんなことをしたのか。(例：自分のできる仕事で、簡単にはできない仕事で、優れた技術が必要な仕事で生活を支えた。)</p> <p>② 学校に行けなかったために…どんな状況になったのか。(例：文字を読み書きする力を、人権を、生きがいを、自信をもつことを、仲間を奪われた。)</p> <p>③ その中で…どんな生き方をしてきたのか。(例：差別への怒りを、差別に負けない心を、人間としての誇りを忘れない心を、更に技術を高めて工夫する気持ちをもって生きてきた。)</p>	15	<p>◆ 資料をもとに、3つの視点について、自分なりの気付きや考えを書き出させた後、近くの人と交流したり、全体で出し合ったりする。</p> <p>* 資料④「識字学級の歩み」</p> <p>視点① 人々の生活を支え、文化の創造・継承に努めてきたことに気付く。</p> <p>視点② 厳しく差別されてきた身分の人々への差別の状況に気付き、差別の不合理さについて考える。</p> <p>視点③ 厳しく差別されてきた身分の人々が差別の中をどのような思いで生きてきたかについて考える。</p> <p>◆ 学級の実態に応じて、差別されてきた身分の人々の思いや願い、団結して差別を乗り越えてきたことについて考えられるような授業展開を工夫する。</p>
	<p>5 前の単元で学習した日本国憲法第11条と第14条の内容を読み、「基本的人権の尊重」や「法の下に平等」について確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「基本的人権の享有」とは何か</li> <li>・ 「人種、信条、性別、社会的身分又は門地により…」とあるが、その言葉の意味は何か</li> </ul> <p>6 現在も様々な差別問題があり、県の人権課題になっていること、差別解消に向けた法律が成立していることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的人権の尊重が守られていない現実があるということは、誰の問題なのか</li> <li>・ 最近になって、差別を解消するための法律が成立したのは、どんな背景や意味があるのか</li> </ul>	5	<p>◆ 差別されてきた人々の思いや願いが日本国憲法の理念に結び付き、社会全体を変えていったことに気付かせる。</p> <p>◆ 「身分」「門地」という言葉については、丁寧に説明する。</p> <p>* 資料⑤「日本国憲法第11条、第14条」</p> <p>◆ 知っていることや教科書記述から、様々な差別問題について出させる。</p> <p>* 教科書記述 (教育出版)→「就職や結婚などの際に差別を受けるなど…」(P.18～19)</p> <p>* 資料⑥「県の12の人権課題」</p> <p>◆ マインドメーターを活用し、本時の導入と比較して、意識に違いが出てきたかを確認する。</p>

ま と め る ・ つ な げ る	7 学習の感想をまとめる。 8 本時の学習について、自分の言葉でまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">         歴史学習では、過去の歴史と今の自分たちの生活をつなげて考え合うことで、これからの社会や自分の生き方に生かせるようにしていくことが大切である。       </div>	7 ◆ 様々な人権問題や差別の不合理性などは、学級の中にも存在することを見つめさせて、学級において、差別を許さない意識を高められるような問いかけをする。 ◆ 歴史学習では、歴史を学ぶ意味を考え、自分たちの生活や生き方につなげていくことが大切であることを確認する。
---	---	---